



『富士山賃貸ESTA』 ⇒ 『サクラス財務』連動マニュアル

『富士山賃貸ESTA』の仕訳データは『サクラス財務 Ver. 2.2.0』以降で取込可能です。
※以下『サクラス財務』と表記

当マニュアル構成

- | | | |
|----|------------------------|--------|
| 1. | ＜仕訳データ作成＞「消費税処理：税込」で作成 | … P. 2 |
| 2. | ＜仕訳データ作成＞「消費税処理：税抜」で作成 | … P. 3 |
| 3. | 『サクラス財務』への仕訳データ取込方法 | … P. 4 |
| 4. | 連動上の注意 | … P. 6 |

1

<仕訳データ作成>「消費税処理：税込」で作成

<仕訳データ作成>-「消費税処理：税込」設定で仕訳を作成した場合、以下のような特徴があります。

1 前受賃貸料 及び 前受金 の計上仕訳について

前受賃貸料 及び 前受金 の計上仕訳は

- 1：入金日付で、家賃収入（または預り金等）として計上します。
- 2：決算仕訳として家賃収入（または預り金等）を相殺し、前受賃貸料（または預り金等）仕訳を作成します。

例) 平成30年1月分（事業期間：平成30年1月1日～平成30年12月31日 計上分）を平成29年12月5日で入金された場合。

事業期間：平成29年1月1日～平成29年12月31日 では以下の様に処理します。

- 1：平成29年12月5日 現金・預金 / 家賃収入（預り金）
- 2：平成29年12月31日 家賃収入（預り金） / 前受賃貸料（前受金）
（↑決算日付）

2 前受賃貸料 及び 前受金 の相殺仕訳について

前受賃貸料 及び 前受金 の相殺仕訳は、決算仕訳として作成されます。

例) 平成30年1月分（事業期間：平成30年1月1日～平成30年12月31日 計上分）を平成29年12月5日で入金された場合。

事業期間：平成30年1月1日～平成30年12月31日では決算日付で相殺仕訳が発生します。

- 平成30年12月31日 前受賃貸料（前受金） / 家賃収入（預り金）
（↑決算日付）

3 未収賃貸料 及び 未収金 の計上仕訳について

未収賃貸料 及び 未収金 の計上仕訳は、決算仕訳として作成されます。

例) 平成30年12月分（事業期間：平成30年1月1日～平成30年12月31日 計上分）が入金されなかった場合。

事業期間：平成30年1月1日～平成30年12月31日では決算日付で未収計上仕訳が発生します。

- 平成30年12月31日 未収賃貸料（未収金） / 家賃収入（預り金）
（↑決算日付）

2

<仕訳データ作成>「消費税処理：税抜」で作成

<仕訳データ作成>-「消費税処理：税抜」設定で仕訳を作成した場合、以下のような特徴があります。

1 未収賃貸料 及び 未収金 の計上 毎月の家賃入金の計上 について

未収賃貸料 及び 未収金 の計上仕訳は、各月の初日に計上されます。
また、毎月の家賃入金等は、未収賃貸料（または未収金）の相殺という形を取ります。

例) 平成30年2月分として、家賃：10万円の請求額が設定されている。
平成30年2月27日付で入金処理された。

平成30年2月1日 未収賃貸料（未収金） / 家賃収入（預り金）

平成30年2月27日 現金・預金 / 未収賃貸料（未収金）

2 前受賃貸料 及び 前受金 の計上仕訳について

前受賃貸料 及び 前受金 の計上仕訳は入金日付で作成されます。

例) 平成30年1月分（事業期間：平成30年1月1日～平成30年12月31日 計上分）を
平成29年12月5日付で入金された場合。

事業期間：平成29年1月1日～平成29年12月31日 では以下の様に処理します。

平成29年12月5日 現金・預金 / 前受賃貸料（前受金）

3 前受賃貸料 及び 前受金 の相殺仕訳について

前受賃貸料 及び 前受金 の相殺仕訳は、決算仕訳として作成されます。
ただし「1」の通り、各月の初日に未収賃貸料 及び 未収金 の計上をおこなうため
未収賃貸料(または未収金)と相殺 となります。

例) 平成30年1月分（事業期間：平成30年1月1日～平成30年12月31日 計上分）を
平成29年12月5日付で入金された場合。

事業期間：平成30年1月1日～平成30年12月31日では決算日付で相殺仕訳が発生します。

平成30年12月31日 前受賃貸料（前受金） / 未収賃貸料（未収金）
(↑決算日付)

3

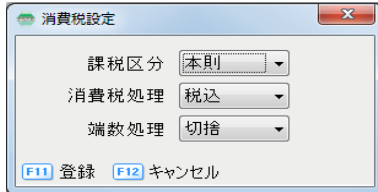
『サクラス財務』への仕訳データ取込方法

『富士山賃貸ESTA』-〈仕訳データ作成〉での仕訳データ作成方法から『サクラス財務』での仕訳データ取込方法は以下の手順で行います。

『富士山賃貸ESTA』での手順

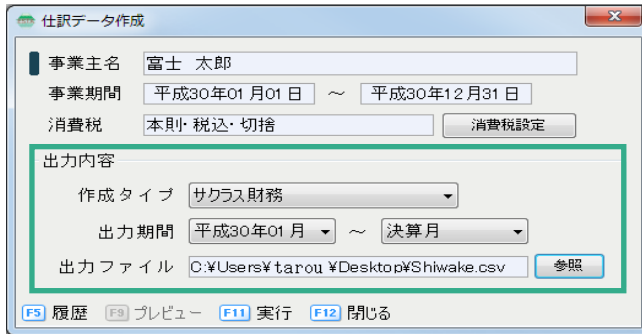
1 〈仕訳データ作成〉-「消費税設定」で、消費税の設定を行います。

『サクラス財務』の消費税設定と同一となる様に設定してください。



2 「作成タイプ」-【サクラス財務】と設定します。

「出力期間」および「出力ファイル（出力先/出力名称）」は任意に設定します。



3 [F11 : 実行] をクリックし、仕訳作成を実行します。

『サクラス財務』での手順

※『サクラス財務』の操作方法は『サクラス財務』のマニュアル等でご確認ください。

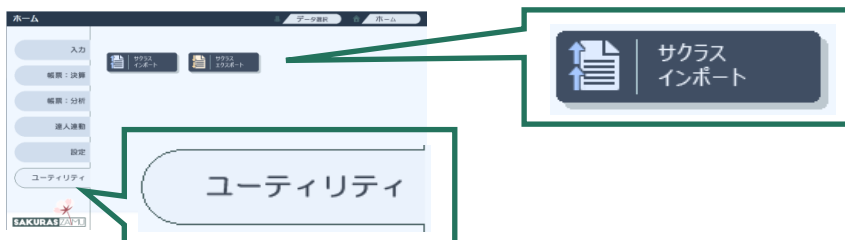
1 『サクラス財務』の消費税設定を確認します。

『サクラス財務』と『富士山賃貸ESTA』の消費税設定が一致していることを確認してください。

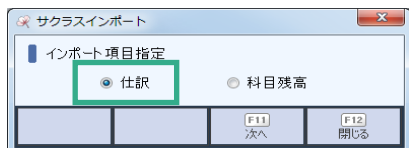
2 『サクラス財務』と『富士山賃貸ESTA』の科目コード/補助コードを一致させます。

科目コード/補助コードが一致しない場合、取込ができません。
『サクラス財務』または『富士山賃貸ESTA』どちらかの科目コード/補助コードを追加または修正してください。

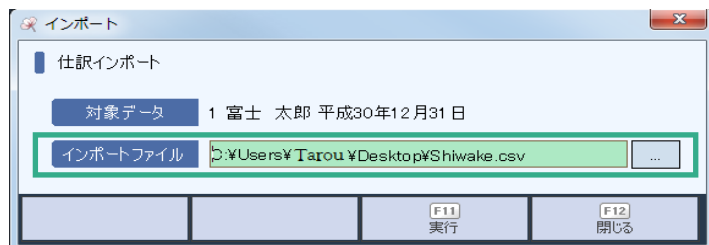
3 【ユーティリティ】-【サクラスインポート】を開きます。



- 4 【サクラスインポート】画面で「仕訳」を選択します。



- 5 「インポートファイル」で出力した仕訳データを指定します。



- 6 取り込まれた仕訳データには「付箋4」が設定されます。

仕訳帳												カスタマイズ	確認印刷	ホーム		
月分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	決	全期間	諸口差額	
付箋一括変更	なし															
日付	No	借方科目	税区	貸方科目	税区	税率	金額	仕訳帳								摘要
付箋		補助科目	簡易	補助科目	簡易	内外	消費税									
02/03	62	103 普通預金 2 富士山銀行	1	401 家賃収入 0 [その他]	30		120,000	家賃キャトルセゾ 202 原 かり H30/02								
02/03	63	103 普通預金 2 富士山銀行	1	401 家賃収入 0 [その他]	30		10,000	共益費キャトルセゾ 202 原 かり H30/02								

『富士山賃貸ESTA』で作成した仕訳データの検索・等でご活用ください。

4

連 動 上 の 注 意

『富士山賃貸ESTA』と『サクラス財務』を連動する際は以下の内容にご注意ください。

「摘要」の文字数について

仕訳の「摘要」として出力される文字数は、各項目によって変化します。
以下を参考に『富士山賃貸ESTA』の文字数を任意に変更してください。

項目	桁数	サンプル
摘要名	全角 4文字	家賃敷金
物件略称名	全角 6文字	緑マンション
区画名	全角 4文字	101
借主名	全角 10文字	富士 花子
月分	全角 6文字	H30/01